

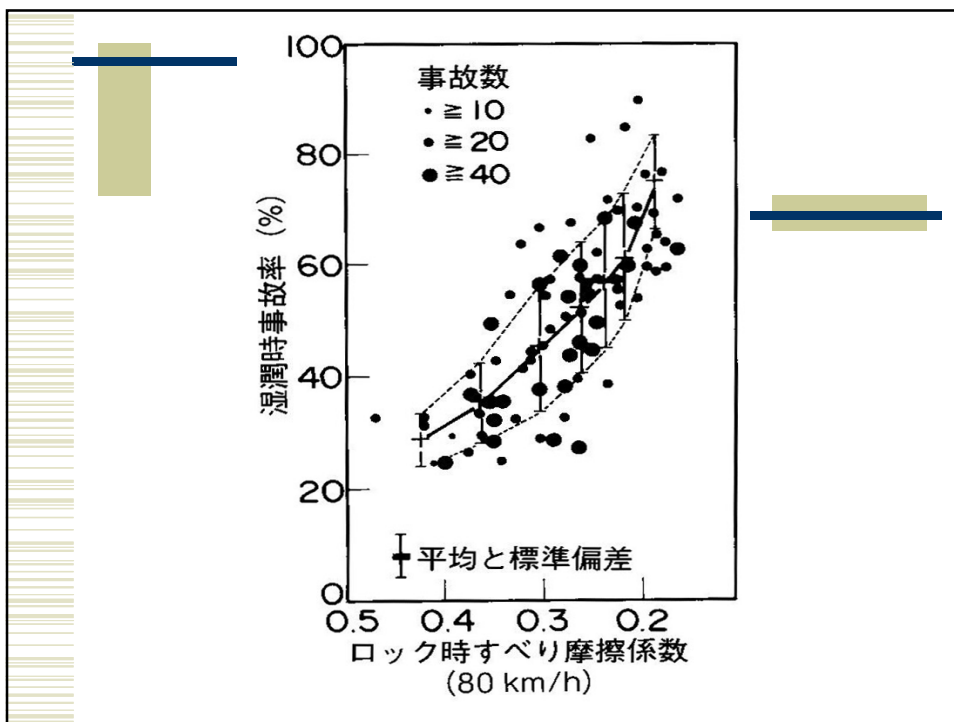
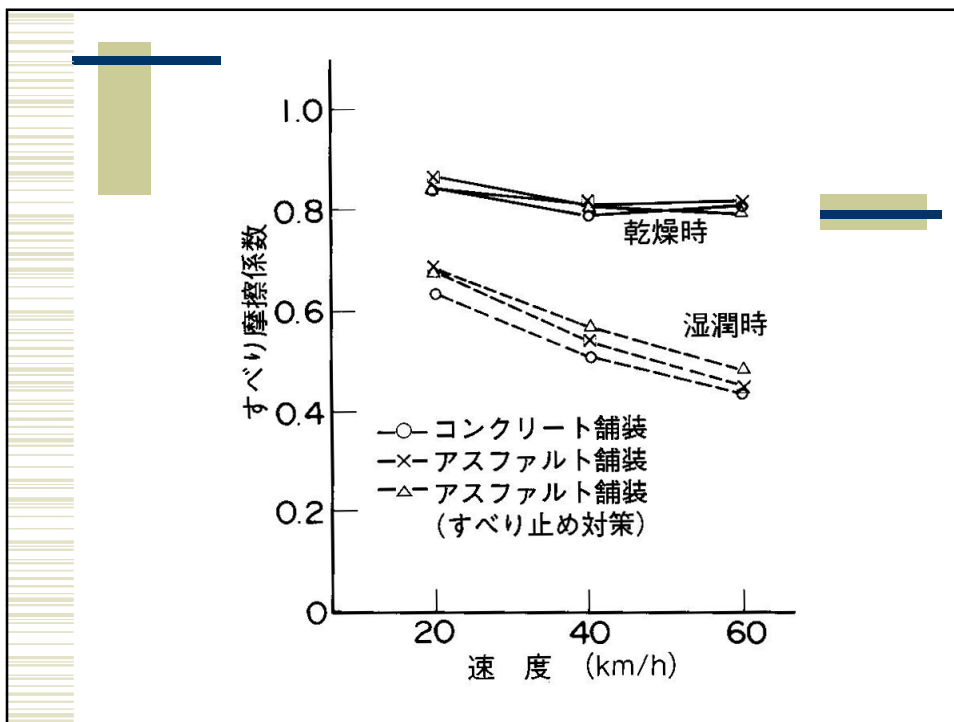
航空機荷重に対する グルーピングの安定性

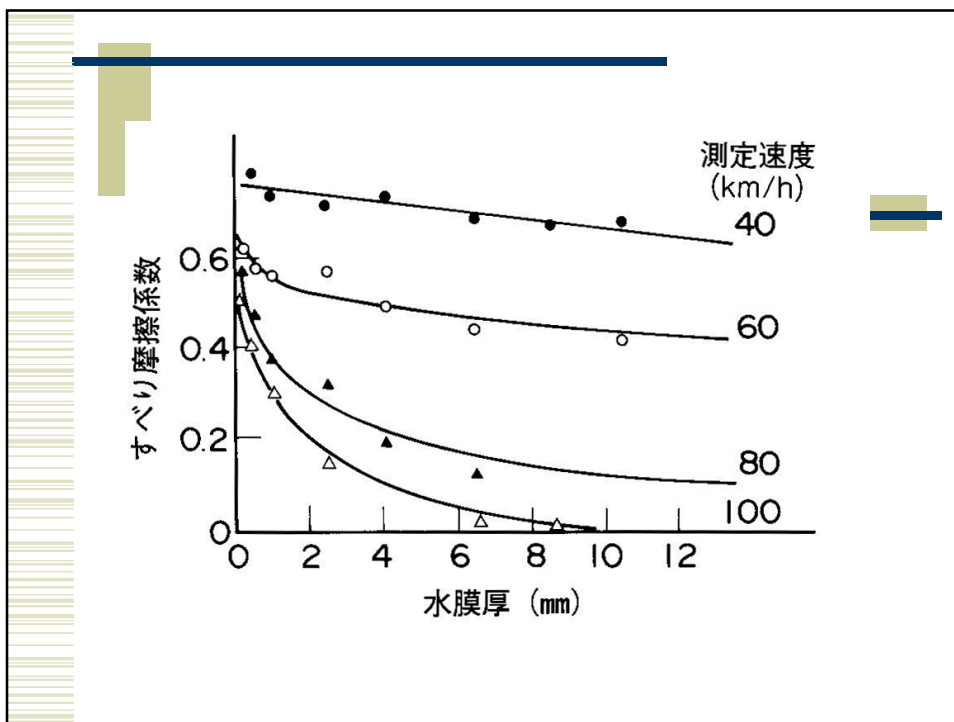
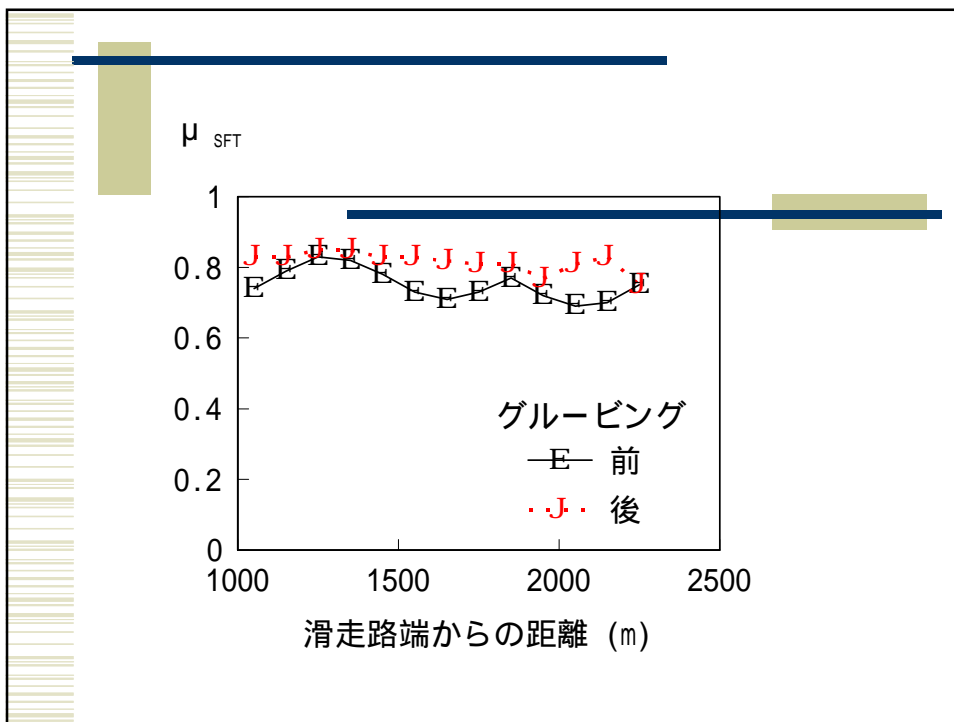
国土技術政策総合研究所
空港研究部
空港施設研究室

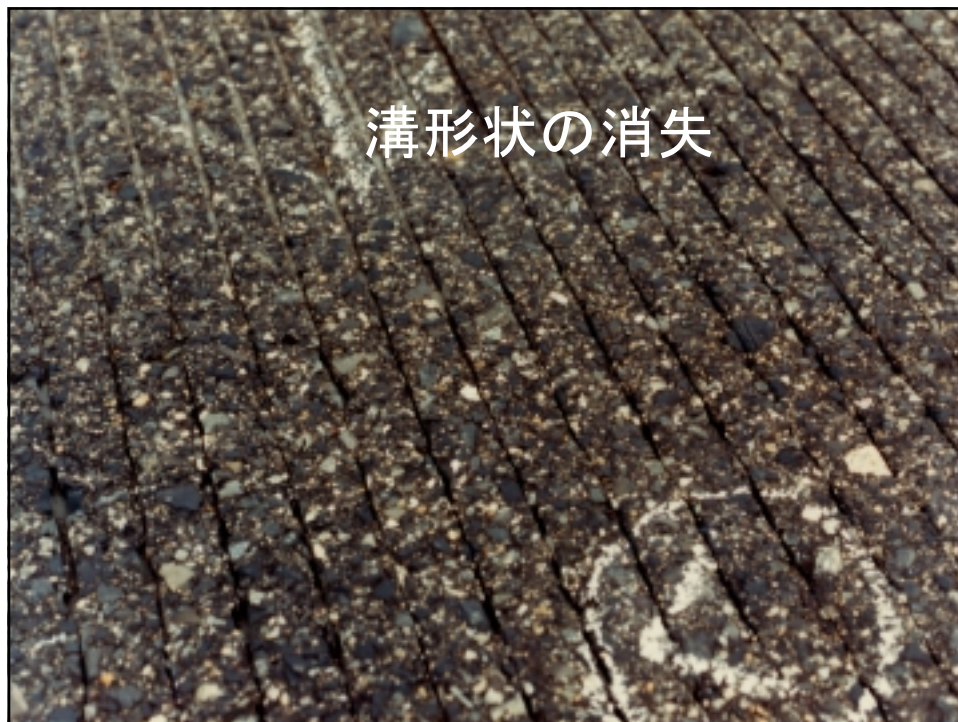
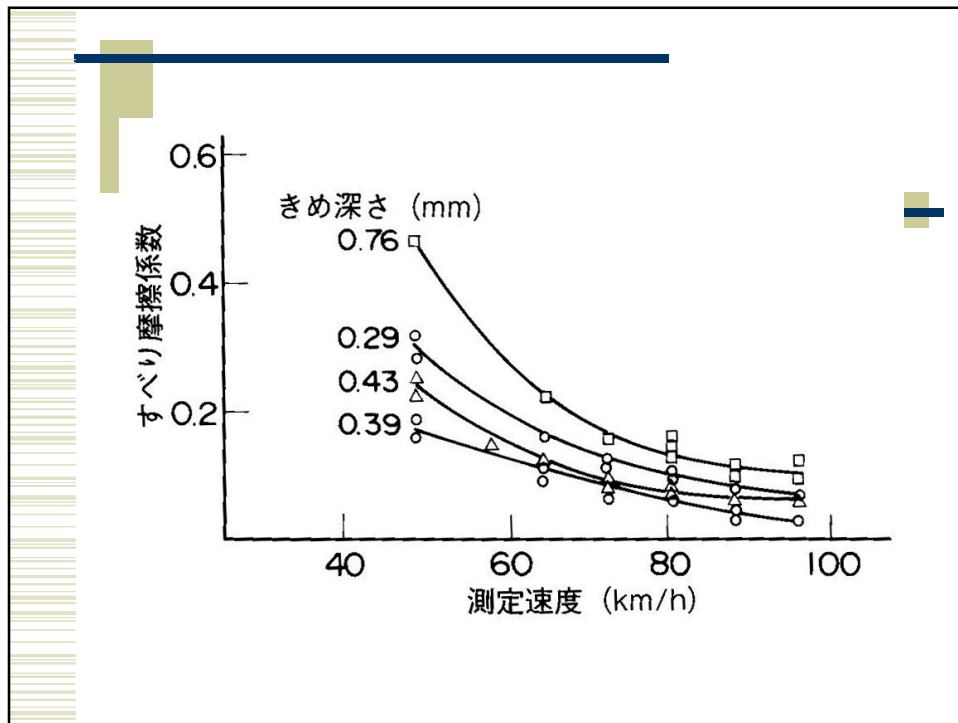
八谷好高

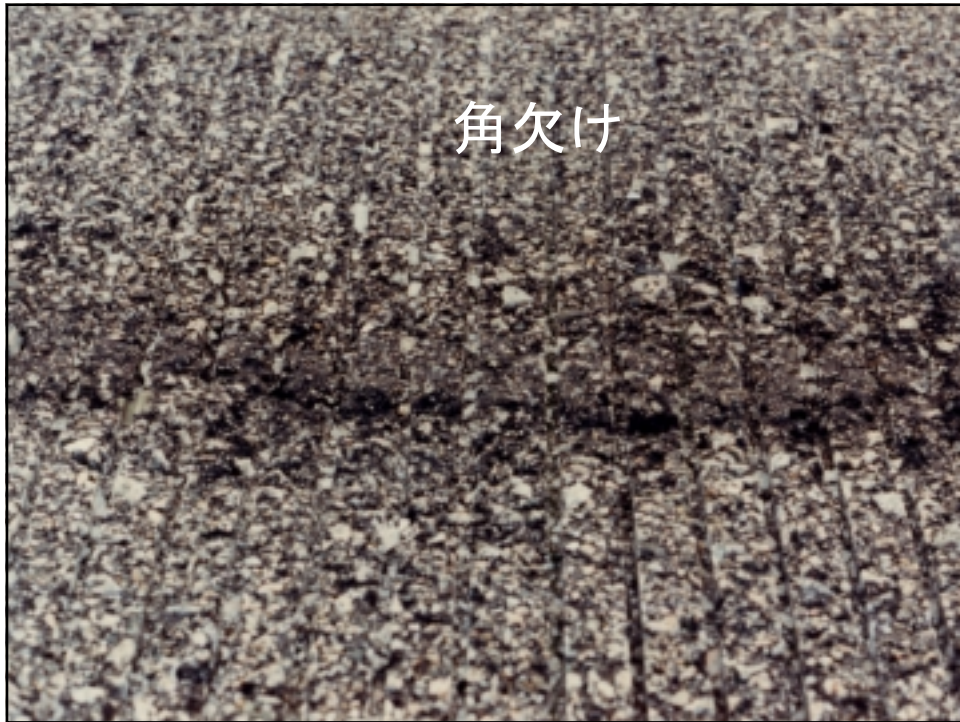
背景

- ◆ 空港滑走路のすべり抵抗性
 - 航空機の運航安全性確保
 - 湿潤状態の滑走路面
- ◆ グルーピング
 - 効果
 - 破損事例
- ◆ 供用によるACの密化
 - 2ヶ月以上の放置期間
 - 補修時のすべり抵抗性確保









目的

- ◆ グルーピングの安定性把握
 - 航空機荷重に対する安定性
 - 表層材(AC)の材料
 - 施工後グルーピング設置までの期間
- ◆ 基準への反映

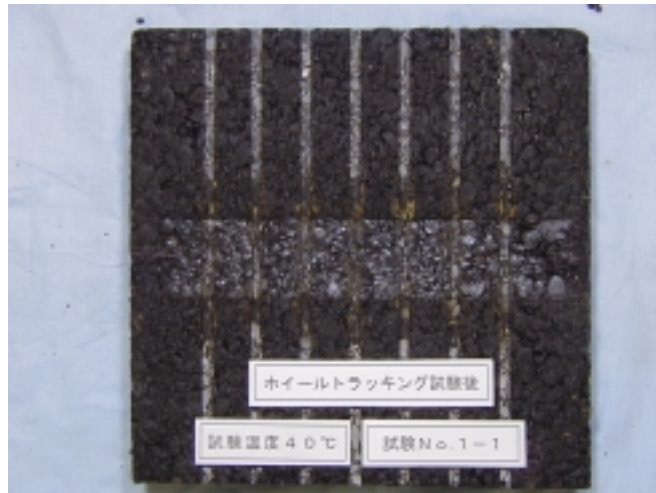
試験計画

- ◆ 材料
 - 骨材: 最大粒径, 粒径分布, 再生
 - アスファルト: ストレート, 改質
- ◆ 放置期間
 - 促進老化(高温酸化): 12~72時間, 交通履歴
- ◆ 室内試験
 - ホイールトラッキング(WT)試験: 形状消失
 - ラベリング試験: 角欠け

WT試験



WT試験後供試体



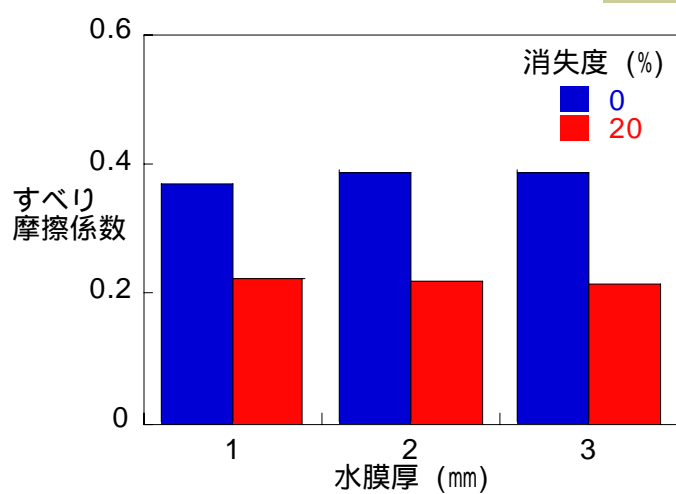
ラベリング試験

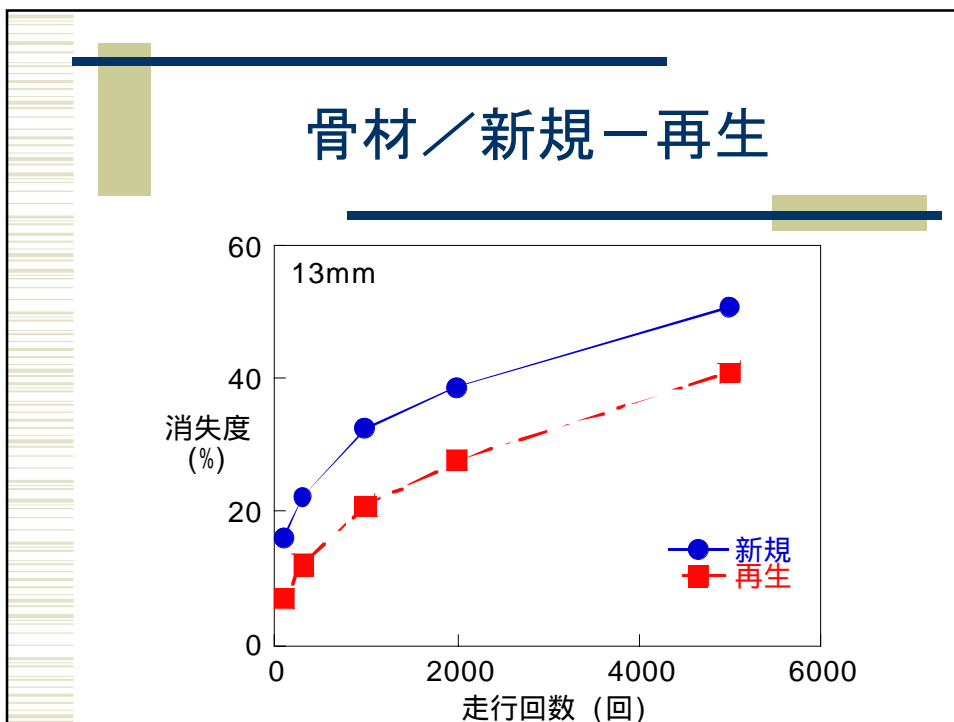
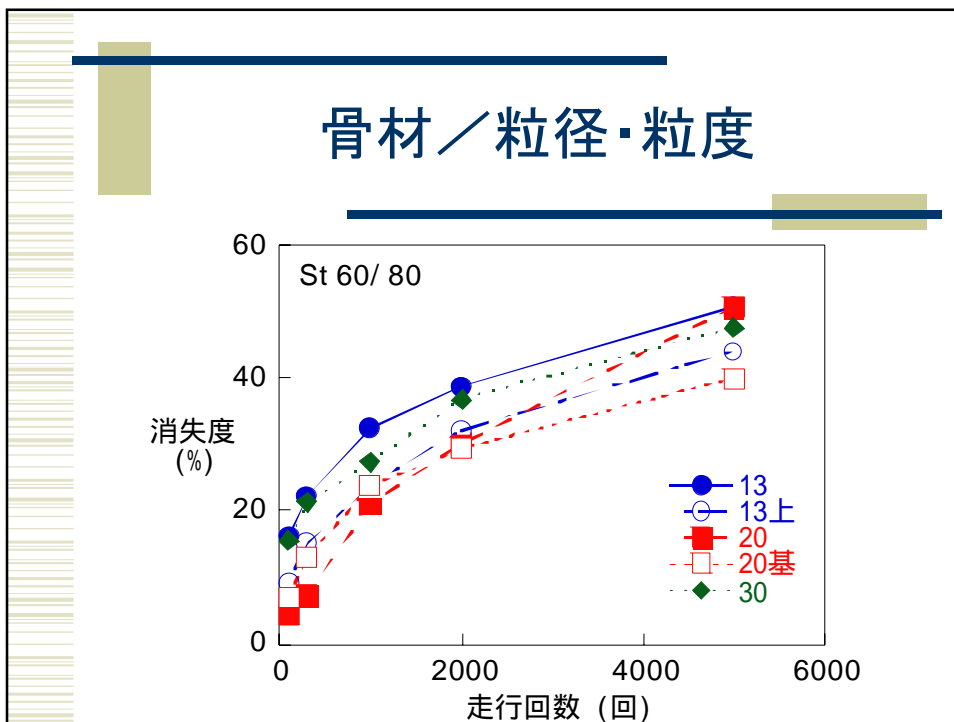


ラベリング試験後供試体

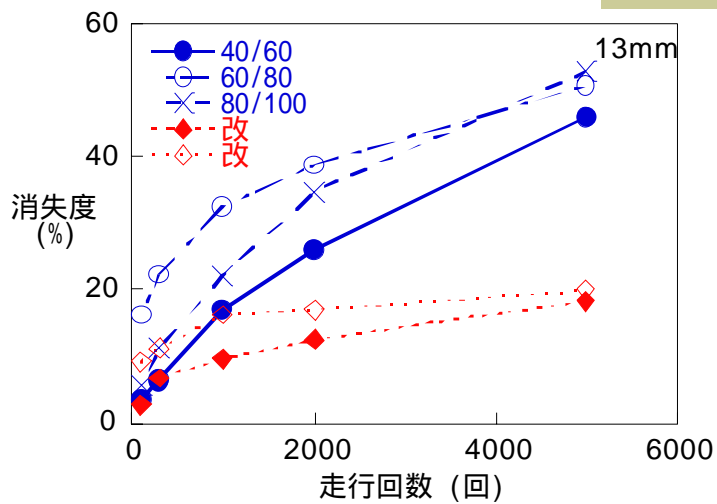


溝形状消失度と摩擦係数

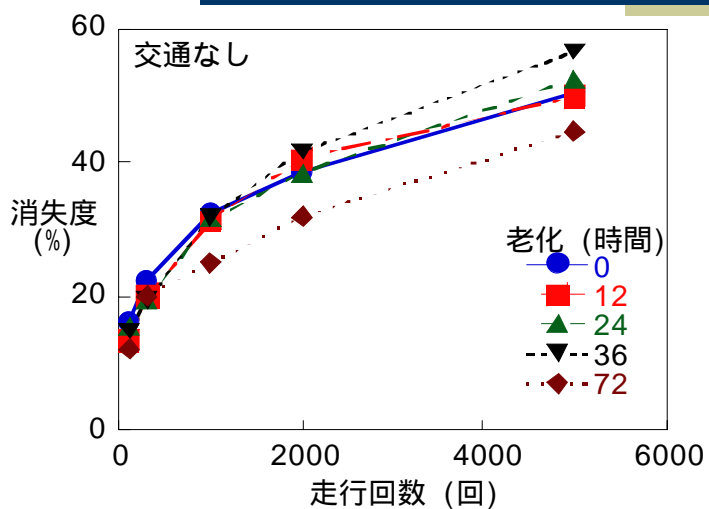


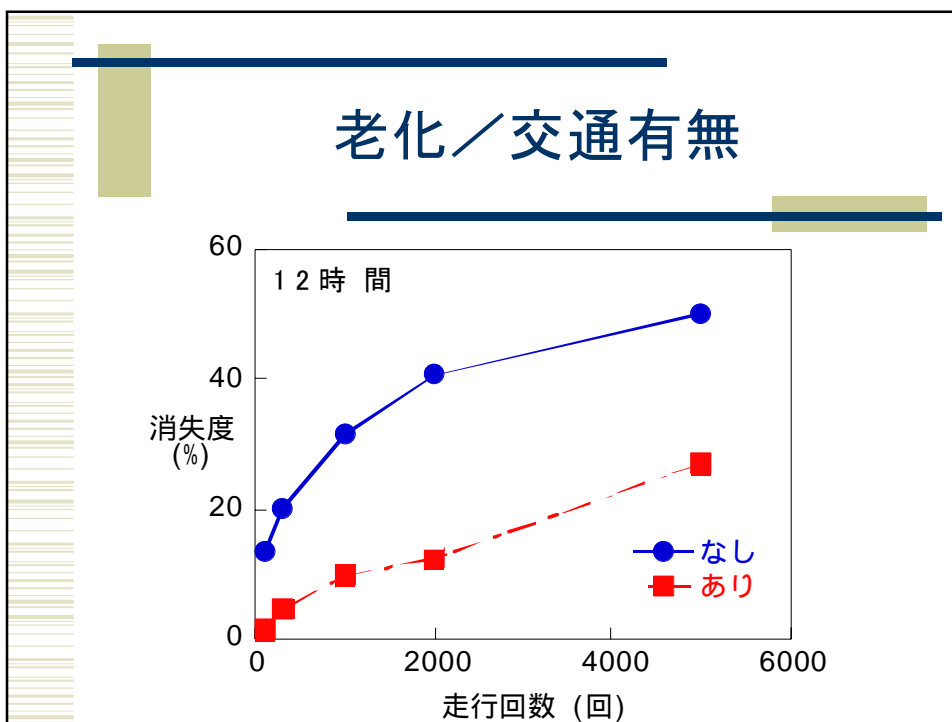


アスファルト／ストレート・改質，針入度



老化／時間





- ### まとめ
- ◆ 骨材: 13・上方, 20・粗粒 > 13・中央
再生 > 新規
 - ◆ アスファルト: 針入度小 > 針入度大
改質 > ストレート
 - ◆ 放置期間: 長期間 > 短期間
新設 > 補修